

78. 日本版WISC-Vの開発研究

研究の概要と目的

児童用知能検査WISC-Vは、子どもの能力の特徴を理解し、特徴に応じた教育や支援を行うために世界的にもっともよく用いられています。私たちはこの検査の日本版の開発を行っています。

この検査は日常生活や社会生活を健康に過ごされているお子さまの全国的なデータをもとにして作成されます。そのためには、年齢、性別、地域の異なるお子さまのデータを幅広く集め、調査する必要があります。

皆さまの調査へのご協力により開発された検査によって、特徴に応じた教育や支援を受けることができ、学校や家庭で主体的に学び、持っている力を発揮できるようになる子どもが、将来大勢いらっしやると思います。ぜひとも本研究の趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。なお、この調査は、埼玉大学におけるヒトを対象とする研究に関する倫理委員会による承認を受けて行われています。

研究の方法

心理アセスメントの専門性を持つ調査実施者が、日本語に翻訳・翻案した米国版WISC-Vを使って、九州・沖縄地域の健康なお子さまに個別に課題を実施します。場所は調査実施者が手配します。

対象とする参加者は12の年齢層（5～16歳）、合計約1200名です。

本研究の参加について

調査への参加は自由意志に基づきます。参加しないことによって不利益を受けることはありません。また、いったん同意された後であっても、いつでも同意を撤回することができます。撤回によって不利益を受けることはありません。

調査する内容

WISC-Vの課題（標準化調査用）

調査期間

研究対象期間：平成30年4月1日～令和元年12月31日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和2年3月31日まで

研究成果の発表

研究成果については、参加されたお子さまの氏名などが明らかにならないようにした上で、本検査マニュアル、学会発表や学術雑誌、データベース上などで公に発表

します。

研究代表者

埼玉大学教授 名越齊子

当院における研究責任者

心理療法士 演野学

問い合わせ先

- 心理療法士 演野学
TEL: 096-353-6501
- 株式会社日本文化科学社WISC-V係
TEL: 033-946-3391